



シャーシ管理

- [でのシャーシ管理 Cisco UCS Manager CLI](#) , on page 1
- [シャーシの削除および解放に関するガイドライン](#) (3 ページ)
- [シャーシの認識](#), on page 4
- [シャーシの稼働中止](#), on page 4
- [シャーシの削除](#) (5 ページ)
- [シャーシの再稼働](#), on page 5
- [シャーシの番号付け直し](#) (7 ページ)
- [シャーシのロケータ LED の電源投入](#), on page 9
- [シャーシのロケータ LED の電源切断](#), on page 9

でのシャーシ管理 Cisco UCS Manager CLI

Cisco UCS ドメインのすべてのシャーシはCisco UCS Manager CLIを使用して管理およびモニタできます。

Cisco UCS S3260 シャーシ

Cisco UCS Manager リリース 4.2(3) では、Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタで Cisco UCS S3260 シャーシがサポートされています。

Cisco UCS Manager リリース 3.1(2) では、Cisco UCS 6300 シリーズの Cisco UCS S3260 シャーシのサポート、6200 シリーズ ファブリック インターコネクタ設定が導入されました。

Cisco UCS S3260 シャーシは、スタンドアロン環境でも、または Cisco Unified Computing System の一部としてでも動作するように設計された、4U シャーシです。次の主要なコンポーネントがあります。

- 4 つの 1050 W AC 電源モジュール (2+2 共有および動作の冗長モード)
- 2 つのシステム I/O コントローラ (SIOC) スロット
- 2 つのストレージスロット、そのうちの 1 つは拡張ストレージに使用可能



(注) シャーシの2番目のサーバスロットは、追加の4台の3.5インチドライブ用のHDD拡張トレイモジュールで利用できます。

- 2番目のサーバの代わりに、オプションの4台の3.5インチHDD拡張トレイモジュールを含む56個の3.5インチドライブベイ
- 6TB HDDを使用した最大360TBのストレージ容量
- 個々のサーバモジュールに3.5インチドライブを割り当てるように設定できるシリアル接続SCSI (SAS) エクспанダ
- シャーシの2台のサーバは、IOエクспанダを含む1台のダブルハイトサーバと交換可能です

Cisco UCS 5108 ブレードサーバシャーシ

Cisco UCS 5100 Series ブレードサーバシャーシは、論理的にはファブリックインターコネクトの一部であるため、一貫した単一の管理ドメインが形成され、管理の複雑性が軽減します。管理ドメイン内では、サーバ管理はファブリックインターコネクトによって処理されます。また、I/Oおよびネットワーク管理は、すべてのシャーシおよびブレードサーバに拡張されます。Cisco Unified Computing System は、ユニファイドファブリックに基づき構築されたI/Oインフラストラクチャにより、単純で合理化されたシャーシを実現しつつ、包括的なI/Oオプション群を提供できます。この結果、シャーシの基本コンポーネントは次の5つだけです。

- パッシブミッドプレーンとアクティブ環境モニタリング回路を備えた物理的なシャーシ
- 背面に電源入力が設けられた4つの電源ベイと、前面パネルからアクセスでき、冗長構成およびホットスワップ可能な電源装置
- それぞれ2つのファンを備えた、ホットスワップ可能な8つのファントレイ
- 背面パネルからアクセス可能な2つのファブリックエクステンダスロット
- 前面パネルからアクセス可能な8つのブレードサーバスロット

ブレードサーバシャーシでは、取り外し可能なディバイダによって柔軟なパーティション分割が可能であり、次の2つのブレードサーバフォームファクタを扱うことができます。

- ハーフ幅のブレードサーバでは、電源への接続と、2つの10GBASE-KR接続（各ファブリックエクステンダスロットに1つ）を使用できます。
- フル幅のブレードサーバでは、電源への接続と、各ファブリックエクステンダに対して2つの接続を使用できます。

UCS Mini の拡張シャーシ

Cisco UCS Manager リリース 3.1(1) では、既存の単一シャーシ Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクトセットアップ上で、拡張 UCS 5108 シャーシがサポートされるようになります。この拡張シャーシでは、サーバ 8 台を追加して構成することができます。プライマリ シャーシとは異なり、拡張シャーシでは IOM がサポートされます。現時点では、UCS-IOM-2204XP および UCS-IOM-2208XP IOM がサポートされます。拡張シャーシの接続には、FI-IOM のスケーラビリティ ポートのみを使用できます。



重要 現時点では、Cisco UCS Manager は UCS Mini に対して 1 台の拡張シャーシのみをサポートします。

拡張シャーシを使用するには、次の操作を行います。

- 2 台目の Cisco UCS 5108 シャーシを、既存の単一シャーシ Cisco UCS 6324 Series ファブリック インターコネクト構成に、スケーラビリティ ポートを使用して接続します。
- シャーシ ディスカバリ ポリシーを設定します。
- サーバ ポートを設定し、2 台目のシャーシが検出されるまで待機します。

シャーシの削除および解放に関するガイドライン

Cisco UCS Manager を使ってシャーシの削除や解除を実行するかを決定するときは、次のガイドラインを考慮します。

シャーシの稼働中止

物理的に存在し接続されているシャーシを、一時的に Cisco UCS Manager 設定から削除する場合は、シャーシの稼働停止を実行します。解放されたシャーシは最終的に再稼働することが予測されるので、シャーシ情報部分は Cisco UCS Manager によって、将来使用するために残されています。

シャーシの削除

削除は、システムから物理的にシャーシを削除する（取り外す）場合に実行します。シャーシの物理的な削除が完了すると、そのシャーシの設定は、Cisco UCS Manager で削除できます。



(注) 現在物理的に存在し接続されている場合、Cisco UCS Manager からシャーシを削除できません。

削除されたシャーシを設定に追加し直す必要がある場合、再接続し、再検出する必要があります。再検出中、Cisco UCS Manager は以前シャーシが持っていた ID と異なる新しい ID を割り当てます。

シャーシの認識

シャーシを確認することにより、Cisco UCS Managerがリンク数の変化を認識していること、およびトラフィックが使用可能なすべてのリンクでフローすることが保証されます。

ファブリックインターコネクト上でポートを有効または無効にした後、1分以上待ってからシャーシを再認識させます。シャーシを再認識させるのが早すぎると、シャーシからのサーバトラフィックのピン接続が、有効または無効にしたポートに対する変更を使用して更新されないことがあります。

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# acknowledge chassis シャーシ番号	指定シャーシを認識します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

Example

次の例では、シャーシ 2 を認識し、トランザクションをコミットします。

```
UCS-A# acknowledge chassis 2
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A #
```

シャーシの稼働中止

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# decommission chassis シャーシ番号	指定されたシャーシを解放します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

稼働が停止するまでには、数分間かかります。

Example

次の例では、シャーシ 2 を解放し、トランザクションをコミットします。

```
UCS-A# decommission chassis 2
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A # show chassis

Chassis:
  Chassis      Overall Status      Admin State
  -----
      1 Operable          Acknowledged
      2 Accessibility Problem  Decommission

UCS-A #
```

シャーシの削除

始める前に

次の手順を実行する前に、シャーシを物理的に取り外します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# remove chassis シャーシ番号	指定したシャーシを削除します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

削除が完了するまでに数分かかる場合があります。

例

次に、シャーシ 2 を削除し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# remove chassis 2
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A #
```

シャーシの再稼働

この手順により、シャーシがコンフィギュレーションに再度追加され、このシャーシにシャーシ ディスカバリ ポリシーが適用されます。この手順を実行すると、シャーシおよびシャーシ内のすべてのサーバにアクセスできるようになります。



Note この手順は、Cisco UCS S3260 シャーシには適用されません。

Before you begin

show chassis decommissioned または **show chassis inventory** コマンドを使用して、稼働停止するシャーシに関する次の情報を収集します。

- ベンダー名
- モデル名
- Serial number

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# recommission chassis <i>vendor-name model-name serial-num</i>	指定したシャーシを再稼働します。
ステップ 2	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。 Note シャーシを再稼働し、トランザクションをコミットした後すぐに show chassis コマンドを実行すると、シャーシの管理状態に変更が見られない場合があります。再稼働後にシャーシの状態が変更するまでに時間がかかることがあるためです。

Example

次に、Cisco UCS 5108 シャーシを再稼働し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# show chassis
```

```
Chassis:
```

```
Chassis      Overall Status      Admin State
-----
1 Accessibility Problem  Decommission
```

```
UCS-A# recommission chassis "Cisco Systems Inc" "N20-C6508" FOX1252GNNN
UCS-A* # commit-buffer
UCS-A #
```

シャーシの番号付け直し



(注) Cisco UCS Manager からブレードサーバ番号を再設定することはできません。ブレードサーバに割り当てられる ID は、シャーシ内のその物理スロットで決まります。ブレードサーバの番号を再設定するには、サーバをシャーシ内の別のスロットに物理的に移動する必要があります。



(注) この手順は、Cisco UCS S3260 シャーシには適用されません。

始める前に

シャーシ間で ID を交換する場合は、まず両方のシャーシを解放し、シャーシ解放 FSM が完了するのを待ってから、番号の再設定手順に進みます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# show chassis inventory	シャーシに関する情報を表示します。
ステップ 2	シャーシ インベントリに以下が含まれていないことを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 番号を付け直すシャーシ 使用する番号を持つシャーシ <p>これらのシャーシのいずれかがシャーシ インベントリにリストされている場合は、これらのシャーシをデコミッションします。続行前に、デコミッション FSM が完了し、シャーシがシャーシ インベントリにリストされなくなるまで待機する必要があります。これには数分かかる場合があります。</p> <p>どのシャーシがデコミッションされたかを確認するには、show chassis decommissioned コマンドを発行します。</p>
ステップ 3	UCS-A# recommission chassis <i>vendor-name model-name serial-num</i> [<i>chassis-num</i>]	指定したシャーシを再稼働し、番号を付け直します。
ステップ 4	UCS-A# commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

例

次に、8つのCisco UCS シャーシ（シャーシ2とシャーシ9）を稼働停止し、それらのIDを入れ替え、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# show chassis inventory
```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
1	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GAAA	0
2	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252BBBB	0
3	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252CCCC	0
4	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GDDD	0
5	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GEEE	0
6	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GFFF	0
7	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GGGG	0
8	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GHHH	0
9	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GIII	0
10	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GJJJ	0
11	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GKKK	0
12	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GLLL	0
13	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GMMM	0
14	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GNNN	0

```
UCS-A# decommission chassis 8
```

```
UCS-A*# commit-buffer
```

```
UCS-A# decommission chassis 9
```

```
UCS-A*# commit-buffer
```

```
UCS-A# show chassis inventory
```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
1	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GAAA	0
2	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252BBBB	0
3	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252CCCC	0
4	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GDDD	0
5	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GEEE	0
6	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GFFF	0
7	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GGGG	0
10	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GJJJ	0
11	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GKKK	0
12	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GLLL	0
13	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GMMM	0
14	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GNNN	0

```
UCS-A# show chassis decommissioned
```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
8	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GHHH	0
9	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GIII	0

```
UCS-A# recommission chassis "Cisco Systems Inc" "N20-C6508" FOX1252GHHH 9
```

```
UCS-A*# commit-buffer
```

```
UCS-A# recommission chassis "Cisco Systems Inc" "N20-C6508" FOX1252GIII 8
```

```
UCS-A*# commit-buffer
```

```
UCS-A # show chassis inventory
```

Chassis	PID	Vendor	Serial (SN)	HW Revision
1	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252GAAA	0
2	N20-C6508	Cisco Systems Inc	FOX1252BBBB	0


```

3 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GCCC 0
4 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GDDD 0
5 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GEEE 0
6 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GFFF 0
7 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GGGG 0
8 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GIII 0
9 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GHHH 0
10 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GJJJ 0
11 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GKKK 0
12 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GLLL 0
13 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GMMM 0
14 N20-C6508 Cisco Systems Inc FOX1252GNNN 0

```

シャーシのロケータ LED の電源投入

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# scope chassis シャーシ番号	指定したシャーシのシャーシ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # enable locator-led	シャーシロケータ LED の電源を投入します。
ステップ 3	UCS-A /chassis # commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

Example

次に、シャーシ2のロケータ LED の電源を投入し、トランザクションをコミットする例を示します。

```

UCS-A# scope chassis 2
UCS-A /chassis # enable locator-led
UCS-A /chassis* # commit-buffer
UCS-A /chassis #

```

シャーシのロケータ LED の電源切断

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# scope chassis シャーシ番号	指定したシャーシのシャーシ モードを開始します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	UCS-A /chassis # disable locator-led	シャーシロケータ LED の電源を切断します。
ステップ 3	UCS-A /chassis # commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

Example

次に、シャーシ2のロケータ LED の電源を切断し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 2
UCS-A /chassis # disable locator-led
UCS-A /chassis* # commit-buffer
UCS-A /chassis #
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。